

【先々週のMESSAGEより】 ルカ2:1-7

家畜小屋でお生まれになったイエス様

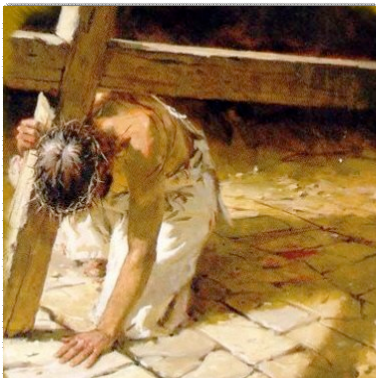
●救い主はベツレヘムで誕生するという預言はどのようにして実現したのであろうか。ヨセフもマリヤもナザレの住民であり、そのままでは預言は成就しそうになかった。しかし神は驚くべきことをなさる。それは時のローマ皇帝アウグストを動かし、税収の徹底のためにローマ領内全域における住民登録をさせたのである。

●バッハやモーツァルトの頭脳を創造なさった方である神は天の偉大な作曲家であり指揮者であられる。ベツレヘムでの救い主の誕生は住民登録の発令、ナザレからの出発の日取り、宿屋の状況、その他全ての状況が整えられ、神の完璧な計画と指揮の下に実現したのであった。「神のなさることはすべて時にかなって美しい」伝道者3:11のである。



●ところで家畜小屋で生まれたイエスと時の権力との間には注

目すべき対比がある。ローマをまとめ上げ、終身独裁官になったユリウスも、初代皇帝となり「ローマの平和/PAXROMANA」をもたらしたアウグストもそれぞれ最も偉大な執政官であったため、現代に至るまで“JULY、AUGUST”と名前を曆に残しているが、イエスは歴史そのものの原点となられ、私たちはイエスを基準に時そのものを数える。なぜか。イエスがまず全ての人に仕える王となられたからである。



●主イエスが「私」のために十字架で命を捨ててくれた方であるからこそ、私は安心して、全身全霊を持ってこの方に仕えて行くことができる。この方に私心はなく、支配を決して強要なさない。だから人々は進んでこのイエスのために命を投げ出すのである。世界史のどのページも、このイエスを主を仰ぎ、このイエスのために命を懸けて来た人々で満ちているのはこのためなのである。■

【今週の英語】 from Adrian Rogers "Adrianisms"

Fear of God is Love on its knees.

神を恐れ敬うことは、愛がひざまずいている姿である。

【天使から見たクリスマス】 J.B. フィリップス

私たちが太陽と呼んでいる星や、そのまわりを回っている惑星の近くに二人が寄ったとき、年上の天使は非常にゆっくりと軸の上で回転している、小さくてどうでもいいような天体を指さした。小天使には、それは汚れたテニスのボールのようにつまらないものに見えた。…

『お前には特にあの星を見てほしいのだ。』

年上の天使は指さしながら言った。

『ええっ、私にはとても小さいし、

ちょっと汚く見えますけれど』

と、小天使。

『あの星の何が特別なんですか。』…

『我が偉大なる栄光の君ご自身

が……この第五流の小さな球に下りて行かれたと言うんですか。なぜそんなことをなさらなければならなかつ

たのでしょうか』……

小天使はうんざりして顔にしわを寄せた。

『あのお方はあえてご自分を低くして、あの浮遊している球の、のろのろとはいつくばっている生き物の一つになられたとおっしゃるのですか。』

『そうだ。それにあのお方は、彼らのことを「のろのろとはいつくばっている生き物などと、そんな声の調子で呼ぶことを望んでおられるとは思わないね。我々には奇妙に思えるが、あのお方は彼らを愛しておられるのだ。彼らを引き上げてご自身に似た者にするために、彼らの所を下って行かれたのだ。』

小天使は色を失ったようだった。そんな考えはほとんど彼の理解を超えていた。

【今週の暗唱聖句】 ヨハネ 3:16

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ 3:16は "Gospel in a nutshell" (福音を一言でいうなら、という意) と呼ばれ、まさに聖書／福音のメッセージが最も完全な形で一節にまとめられている。人はこの一言で滅びから永遠の命へと救われていくことができるのである。それゆえにしっかり心に刻んで行こう。■

【2008年を締めくくるにあたり】

数日で2008年が終わる。全ての出来事が2008年の「自分史」に克明に刻まれた。時至り、神の前に立つ日にそれは読み上げられ、その行いに応じて裁きを受けることが定まっている。私たちは与えられた能力、財力、時間を今年どう用いて来ただろうか？ 天に宝を積んだだろうか。それともむだに過ごしてしまっただろうか。自分だけのために使ったものの多くは失われ、愛ゆえに神と人とのために用いたものは何一つむだになっていない。来年はさらに神に近く歩みたい。